

2018年度事業及び活動報告

法人の名称 特定非営利活動法人たすけあい多摩

1. 事業活動の成果

2018年度は、たすけあい多摩にとって大きな節目となる年でした。

平成の始まりとともにスタートしたたすけあい多摩の活動が、30周年を迎える事ができたことが、何よりすばらしい出来事でした。介護はどうあったらよいか、検討を重ねながら30年間を歩んできたこと、会員一人一人の心をこめた活動が、30年の積み重ねの基盤となって支えていることに誇りを感じました。「30周年を祝う会」では、会員一人一人の多彩な個性が発揮され、エネルギーあふれる楽しい会となりました。“デイサービスたまちゃん”の利用者の壁面のちぎり絵、テーブルのフェルト花の飾りも色をそえ、すばらしい仲間と絆を深めることができました。

通所事業“デイサービスたまちゃん”では、家主との更新手続きの際、「あと1年で終了」と告げられ、頭をかかえました。代替物件を探し始めたところ、同様の民家を探すことは大変難しく、厳しくなった基準をみたすには多額の改修費用がかかるということが判明しました。これは、全会員で話し合うべき問題であるため、臨時総会、報告会、緊急臨時総会と3回の検討の機会を設け、議論の結果、通所事業を廃止すると決議しました。

12月19日付けで利用者へ閉鎖のお知らせをし、ケアマネージャーに今後を託し、3月末日までの営業としました。利用者は最終日までたまちゃんに通い、楽しく過ごしていただきました。3月30日（土）引っ越し、31日（日）には片付けを完了しました。

2つの大きな課題に対応しながら、通常の稼働は滞りなく行なわれました。2016年度・2017年度とも赤字決済が続き、危機感を伝えたためか、今年度はどの事業とも、前年度を上回る収益を上げることができ、黒字に転じました。

自主事業まどかでは、今年度の事業収入は昨年度の37%増で、どの月も黒字となりました。しかし稼働時間数に大きな増加は見られず、収益増は、料金値上げが反映したものと考えられます。期待された稼働人数は増えず、人材確保の目的は果たせていないと言えます。

訪問事業でも、事業収入は昨年度の12%増でしたが、稼働時間数はほぼ同じで、収益増は、常勤者の稼働によるものと考えられます。サービス提供責任者に、負担を強いる結果となってしまいました。今後は常勤のサ責を3人体制とし、障害担当も位置づけ、負担を減らす工夫が必要です。

通所事業“デイサービスたまちゃん”では、事業収入は昨年度の2%増で、引っ越し廃棄処分にかかった費用を差し引いても、収支を黒字で終えることができました。

ボランティア活動では、人数不足という課題に対して、改善はみられませんでした。「多摩川の里」スタッフより、ボランティアのお陰で利用者が笑顔で張りのある生活を送ることが出来たというコメントを頂き、活動への意欲を強くしました。

今年度は黒字で決済を終えることが出来たため、この先不安なく歩いていくための設備投資として、エアコンの交換、パソコンの入れ換え、電動自転車の購入をしました。

通所事業は、たすけあい多摩の30%を占めています。来期からは規模を30%縮小し

ていかなければなりません。立ち行かなくなるからです。人件費・経費・管理費等、全ての支出の割合を厳しく検討していきたいと思います。

又、これからは、自主・訪問・障害・ボランティアの4つの柱で支えていくこととなります。生きがいに寄り添ったり、豊かな暮らしを支援したりする活動を目指し、それぞれをより強固なものに、そして内容や方法の新しい工夫を盛り込んでいきたいと思います。

2. 事業活動内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①家事援助及び介護援助に関する事業

自主に関する事業

- ・内 容 介護保険事業外の高齢者及び一般家庭への家事一般・保育等に対し、ヘルパーを派遣
- ・日 時 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区とその近隣
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 201名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 410名
(利用者：入会7名 退会12名 復活3名 現在50名)
- ・稼働時間 年間 1,999時間
- ・事業費支出額 3,502,649円

②訪問介護及び介護予防訪問介護及び第1号訪問事業に関する事業

- ・内 容 訪問介護・介護予防訪問介護及び第1号訪問事業によるヘルパー派遣
- ・日 時 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 392名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 1,089名
- ・時 間 数 年間 9,076時間
- ・事業費支出額 27,459,624円

③地域密着型通所介護及び介護予防通所介護及び第1号通所事業に関する事業

- ・内 容 地域密着型通所介護・介護予防通所介護・第1号通所事業による食事・入浴・送迎・各レクリエーション・その他必要とする介護サービス
- ・日 時 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区菅仙谷1-10-37
デイサービス たまちゃん
- ・従 事 者 7名/日 (ヘルパー・調理員・運転員・看護師)
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 1,929名

・事業費支出額 17,015,988円

④障害福祉サービスに関する事業

- ・内 容 居宅介護によるヘルパー派遣事業
- ・日 時 2018年4月1日～2019年3月31日
- ・場 所 川崎市多摩区内
- ・従 事 者 ヘルパー延べ人数 134名
- ・対 象 者 利用者 延べ人数 77名
- ・時 間 数 年間 902.75時間
- ・事業費支出額 1,648,489円

⑤この法人が行う事業に関する相談・研修・啓発に関する活動

(内部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者(名)
6/9	法令遵守・接遇と プライバシーの保護	渡部純子氏	17
9/27	感染症及び食中毒の発生 と蔓延予防	多摩区役所 健康福祉センター 南氏、榎本氏	26
12/8	救急救命	川崎市消防 防災指導公社	21
2/9	認知症	小倉百梅子氏	18
合計	研修4回開催		82

(外部研修報告)

実施日	内容	講師	出席者(名)
7/26	「栄養」短時間調理や 病状に合わせた調理方法	神奈川県栄養士会 志賀美智子先生 佐伯知美先生	8
8/24	老計10号 改正について	あうん介護センター 中馬三和子氏	3
9/7	災害	幹福社会 大里宣之先生	9
10/11	老計第10号(生活援助) 改正について	大妻女子大学名誉教授 是枝祥子氏	7
11/26	皮膚、排泄ケア	多摩病院 皮膚・ 排泄ケア認定看護師 杉山菜穂氏	5
1/18	ヨガ	松澤康代先生	3

2/12	「ご存知ですか？ 高次脳機能障害のこと」	川崎市北部リハビリ テーション 百合ヶ丘障害センター 在宅支援室 室長 安保博史先生 臨床心理士 松井健太先生	5
2/27	脳卒中について	多摩脳神経外科 院長 諫山和男先生	12
	研修 8 回開催		52

【ボランティア活動】

- ・内 容 特別養護老人ホーム「多摩川の里」で活動、交流
カフェ（毎月第1, 3金曜日）ボランティア参加延べ人数 106名
刺し子とぬりえ（毎月第4火曜日他） // 47名
うたう会（毎月第3木曜日） // 77名
シーツ交換（第5火曜日） // 45名
- ・従 事 者 会員及びボランティアを含む 延べ人数 275名
- ・対 象 者 特別養護老人ホーム「多摩川の里」の入所者
- ・活動費支出額 14,880円

⑥独居高齢者支援に関する活動（飯室会館わくわく茶話会・ミニデイ津野田）

高齢者に外出する機会を作り、地域のふれあいの場として歓談・昼食・レクリエーションなどをして有意義な時間を共有しました

【飯室会館わくわく茶話会】

- 開 催 11回（毎月第3水曜日、8月休み）
- 会 場 飯室会館
- 利用者延べ人数 167名（平均15名）
- ボランティア延べ人数 72名（平均6名）
- 活動費支出額 140,000円（川崎市よりの助成金130,000円）

【ミニデイ津野田】

- 開 催 10回（毎月第4日曜日、8月・10月お休み）
- 会 場 たすけあい多摩 事務所
- 利用者延べ人数 73名（平均7名）
- ボランティア延べ人数 58名（平均6名）
- 活動費支出額 0円